

「全鍍連」 2017年 7月号 理事長のよこがお

東北・北海道表面処理工業組合 理事長 島田 博雄 (東邦メッキ(株)代表取締役)

「東北の夏祭り」



東北・北海道表面処理工業組合の新理事長となりました島田です。大役を仰せつかり身の引き締まる思いですが、組合そして全鍍連の一助になればと思っております。宜しく願い申し上げます。

私の地元仙台では「お盆を過ぎると秋風が吹く」と言われております。東北の夏は短く、7月後半の梅雨が明けると夏らしい暑さはひと月ぐらいしかありません。その短い夏に夏祭りが各地で催されます。東日本大震災のあった 2011 年は全国で祭りやイベントの自粛ムードが広がる中、その復興と鎮魂を願い東北 6 県の代表的な夏祭りを集めて「東北六魂祭」と銘打ち、仙台で開催されました。参加したのは青森ねぶた祭、盛岡さんさ踊り、秋田竿燈まつり、仙台七夕まつり、山形花笠まつり、福島わらじまつりです。パレードや展示が行われ、二日間開催されたお祭りの人出は 37 万人と予想以上の大盛況でした。悲しくつらい気持ちで迎えた祭りでありましたが、負けてはいられないとの気持ちをみんなで共有する事ができ、勇気と感動を与えられました。当初は一回限りの開催予定でしたが、東北の祭りを一度に見られる事からも継続してほしいとの声が圧倒的にあり、東日本大震災の鎮魂を込め「東北六魂祭」として、持ち回りで開催される事になりました。

2012 年は盛岡市、2013 年は福島市、2014 年は山形市、2015 年は秋田市、昨年 2016 年は青森市で開催され東北を一巡しました。

各地でも大好評で多くの人々を楽しませる事ができました。東北の復興のため、互いに手を取りあって助け合い、ともに歩んだ 6 年の道のりは東北を一つにしました。その絆を大切に更なる復興を進めるため、今年からは「東北絆まつり」と名称を変え、第一回が仙台市で 6 月 10、11 日に開催されました。

夏祭りは全国各地にあります。先程紹介したのは東北を代表する祭りですが、私の自宅近くの神社の夏祭りや、花火大会など幼いころからの祭りやイベントは懐かしい思い出として深く心に残っており、大人になっても子供を連れて見に行くのが楽しみであります。

皆様もそのような体験があるのではないのでしょうか。新しいイベントもたくさん催されるようになりました。地域の活性化には大変良いことであります。しかし昔から身近にあるお祭りは人口減少と高齢化で維持していくのが大変な時代になりましたが、地域に根ざした文化は絶えることなく継続させたいものです。

先に紹介しました東北 6 県を代表する夏祭りの今年の開催日は以下となっております。

- 盛岡さんさ踊り8月1～4日（盛岡市）
- 青森ねぶた祭り8月2～7日（青森市）
- 秋田竿灯まつり8月3～6日（秋田市）
- 福島わらじまつり8月4～5日（福島市） ○山形花笠まつり8月5～7日（山形市）
- 仙台七夕まつり8月6～8日（仙台市）